

## Q 前橋市の28年度決算を家計簿にしてみると、どうなりますか？

**A 市税を年収500万円とした場合、次のようになります。**

収 入					
平成28年度一般会計決算(年額)			家計にたとえた場合(年額)		割合
自主財源	市税など	707億2,341万円	年収	500万円	49.3%
	基金取崩	48億6,549万円	預金引き出し	34万円	3.4%
依存財源	国・県支出金、交付税など	518億5,702万円	親からの援助	367万円	36.2%
	市債	158億8,660万円	ローン借り入れ	112万円	11.1%
合 計		1,433億3,252万円	合 計	1,013万円	

支 出					
平成28年度一般会計決算(年額)			家計にたとえた場合(年額)		割合
義務的経費	人件費	213億9,054万円	食費、通信・交通費など	151万円	15.2%
	扶助費	308億3,998万円	医療費・保険料など	218万円	21.9%
	公債費	154億1,683万円	ローン返済	109万円	10.9%
物件費		180億7,875万円	光熱費、被服費など	128万円	12.8%
投資的経費・維持補修費		247億9,210万円	自宅修繕・車購入など	175万円	17.6%
補助費等		105億6,678万円	クラブ活動費など	75万円	7.5%
繰出金		120億6,919万円	子どもへの仕送り	85万円	8.5%
積立金・投資及び出資金・貸付金		79億3,123万円	貯金	56万円	5.6%
合 計		1,410億8,540万円	合 計	997万円	

繰越金					
平成28年度一般会計決算(年額)			家計にたとえた場合(年額)		割合
繰越明許費		6億6,859万円	カード引去確定額	5万円	29.8%
財政調整基金等積立		8億円	貯金	6万円	35.6%
29年度予算繰越		7億7,854万円	財布残金	5万円	34.6%
合 計		22億4,713万円	合 計	16万円	

○ 収入では、自主財源である「年収・預金引き出し」が52.7%に対し、国・県支出金等である「親からの援助」が36.2%も占めています。これは、国の仕事を市が代わって行っているものなどがあるからです。このため、現在、国と地方の収入割合の見直しが進められています。

○ 支出では、「医療費・保険料など」が、年々増加しています。また、「自宅修繕・車購入など」も増加していますが、老朽化に伴う修繕などは今後も計画的に実施していきます。

○ 繰越金については、借金返済や経済状況の変化に備えて、35.6%を貯金しました。

※この家計簿は、平成28年度一般会計決算をベースに、市税などの自主財源(707億2,341万円)を年収500万円として、これを基準に各費目を一般家庭の項目に置き換えたものです。

※数字は、集計の都合上、端数整理をしています。